

環境に配慮したパッケージ(ファミマのエコパケ)

ファミリーマートでは、オリジナル商品の容器や包材について、軽量化や紙などの代替素材への切り替え、植物を原料にしたバイオプラスチックなどの環境負荷の少ない素材の使用などを行っています。2020年からは、それらの取り組みを「ファミマのエコパケ」と称して積極的に進めております。

これまでのエコパケ（2026年1月時点）

第1弾	<u>ラップ容器の蓋をシールに変更</u>	20年4月
第2弾	<u>サラダの環境配慮型容器への切り替え完了</u>	20年6月
第3弾	<u>オリジナルヨーグルト飲料を紙製容器へ</u>	20年6月
第4弾	<u>サラダ容器のふた部分をトップシール化 美味しさも長持ち</u>	20年7月
第5弾	<u>弁当・寿司の一部を紙製容器へ変更</u>	21年3月
第6弾	<u>パスタ容器を再生可能資源由来のバイオPP容器へ変更</u>	21年6月
第7弾	<u>オリジナル商品の水の容器を100%リサイクルペットボトルに</u>	21年6月
第8弾	<u>直巻おむすびの包材フィルムを薄肉化、バイオ素材を配合</u>	21年8月
第9弾	<u>スープ容器を一体化容器(プラスチック／紙)へ変更</u>	21年10月
第10弾	<u>手巻おむすびの包材フィルムの一部にバイオPPを使用</u>	22年4月
第11弾	<u>ファミマ!!アイスコーヒーカップのプラスチックから紙へ変更</u>	22年4月
第12弾	<u>サンドイッチの包材の形状変更によるプラスチック使用量削減</u>	22年4月
第13弾	<u>パウチサラダのパッケージの形状を変更</u>	22年6月
第14弾	<u>焼うどん・焼そばの容器を薄肉化、バイオ素材を配合</u>	22年9月
第15弾	<u>弁当やパスタなどオリジナル商品のラベルシールを紙製に変更</u>	22年9月
第16弾	<u>カウンターコーヒーでカップ・蓋一体型の「完全紙カップ」実証実験</u>	23年2月
第17弾	<u>オリジナル商品の水の容器を軽量化、100%リサイクルペットボトルに</u>	23年2月
第18弾	<u>サラダ・コーヒーフレッシュ・ガムシロップ容器を軽量化</u>	23年6月
第19弾	<u>オリジナル商品のパンの包材を薄肉化</u>	23年10月

第20弾	<u>「ファミマ・ザ・クレープ」の包材に環境配慮素材を使用</u>	23年10月
第21弾	<u>パスタの容器を薄肉化、環境配慮素材を使用</u>	23年11月
第22弾	<u>オリジナル商品のチルド弁当・チルド寿司容器を軽量化・素材変更</u>	24年1月
第23弾	<u>オリジナル飲料6品の容器を100%リサイクルペットボトルに切り替え</u>	24年3月
第24弾	<u>オリジナル商品のシュークリーム2品の包材を薄肉化・素材変更</u>	24年4月
第25弾	<u>オリジナル商品のサンドイッチの包材を薄肉化・素材変更</u>	24年5月
第26弾	<u>オリジナル飲料 定番7品の容器を「ボトルtoボトル」容器に</u>	24年7月
第27弾	<u>オリジナル商品のスープの容器本体を紙製に変更</u>	24年9月
第28弾	<u>オリジナル商品のクリームたい焼きの包材を薄肉化・素材変更</u>	25年1月
第29弾	<u>オリジナル飲料の容器で100%リサイクルペットボトルを使用</u>	25年3月
第30弾	<u>オリジナルカップ氷の容器でプラスチック削減</u>	25年4月
第31弾	<u>ピーチ&マンゴー香るルイボスティーとリサイクルペットボトル</u>	25年5月
第32弾	<u>丼タイプの弁当の本体容器を紙製に変更</u>	25年5月
第33弾	<u>アップル香るジャスミンティーとリサイクルペットボトル</u>	25年6月
第34弾	<u>惣菜の容器集約によるプラスチック使用量の削減</u>	25年10月
第35弾	<u>直巻おむすびの一部商品の包材フィルムを薄肉化</u>	25年11月
第36弾	<u>オリジナル飲料2商品でリサイクルペットボトル</u>	25年11月
第37弾	<u>ファミマルの菓子のパッケージに環境配慮素材を使用</u>	25年11月
第38弾	<u>レギュラータイプのパスタ容器を環境配慮型に進化</u>	25年12月
第39弾	<u>オリジナル飲料の容器をリサイクルペットボトルに変更</u>	26年1月